



# 入所者、職員数と感染患者の把握

大阪府保健医療室感染症対策企画課 鈴木



# 現場で、こんな声聞いたことないですか？

- 物品が足りない
- 人が足りない
- いつものようなお世話ができない



想定していたのと全然ちがった・・・



# 感染者の対応で検討する項目

- 指揮系統
- 感染状況
- 感染管理
- 医療提供と健康管理
- 人的資源の管理
- 物的資源の管理
- 生活支援
- 職員ケア
- コミュニケーション
- その他

# 感染状況

## — 感染者数に合わせた対応

### — ゾーニング

個室対応



大部屋対応



フロア全体での対応



### ● 医療提供



### — 物的・人的資源

### — 関係スタッフの把握



### — 平時と現状の違いを把握



### — 療養解除等の出口の明示



すべての始まりは、数を整理して把握すること

入所者数、職員数、感染者数について



# 感染状況

- 発生当時の在院数 (各フロアごと)
- 発生当時の職員数 (各職種ごと)
- 現状の数 (入居者、職員とも)

- 把握する項目
- 累計
  - 元総数
  - 陽性者数
  - 陰性者数
  - 未検査
  - 検査待ち
  - 入院

- 現在の状況
  - 総数
  - 陽性者数
  - 濃厚接触者数
  - 療養解除数
  - 未感染数

2. 感染状況

入所者

	元総数	陽性	陰性	未検	検査済	入院
2F	11	5	6	0	0	3
3F	15	6	9	0	0	4
F						
合計	26	11	15	0	0	7

職員

	元総数	陽性	陰性	未検	済
合計	14	3	7	0	4
Ns	2	2	0	0	0
他	7	0	7	0	0
合計	23	5	14	0	4

現在の状況

	総数	陽性	濃厚	解除	感染
2F	8	2	6	0	0
3F	11	2	9	0	0
F					
合計	19	4	15	0	0



# 平時と現状の違いを把握

- 発生当時の利用者数とケアワーカー数の割合を算出
- 現状の利用者数とケアワーカー数の割合を算出して平時と比べます

入居者 昔/今	介護 昔/今	介護人員 昔/今
19 / 26	7 / 16	<u>2.7</u> / 1.6

下"件止のため、応接スタッフ7名を介護士として介入して11名

# 平時と現状の違いを把握

- 平時との差がない場合でも、普段と違う業務量が発生しています
- 少ない人数の場合以下の対応を検討
  - デイサービスなど業務が停止しているところからの応援依頼
  - 同グループ内での応援体制
  - 一時的な外部雇用（かかりまし制度の利用）
- 少ない人数でも業務量を調整することで乗り越えることができます。
  - どれだけのケアを提供するのか



# 平時と現状の違い

— 少ない人数でも業務量を調整することで乗り越える

— 例えば・・・

- 陽性者を転室した後の部屋の消毒や清掃
- 入浴介助
- 必要ないバイタル測定の回数

陽性者が出た後の部屋は誰も使わないよ。  
3日置いてから清掃して大丈夫じゃない？

有症状、有熱者以外は  
1日2回の検温でも大丈夫  
その血圧測定必要？

# 濃厚接触者の定義を確認

- 濃厚接触者は陽性者と同じ扱いになります。
- 陰性者対応ではありません。
  - 15分以上マスクしていない状態で陽性者と接触
  - 陽性になった人と同室
  - 同じ食卓で食事をしていた
  - 同時間帯に洗面所を使用した
  - 保健所から濃厚接触者と認定された方
  - 施設側で濃厚接触者と決めた方
- 解除日は、最後に陽性者と接触した日からカウント
- 解除者をできるだけ増やしましょう

# 療養解除等の出口の明示

## — 感染状況で確認すべき必須項目

### — 陽性者の隔離解除日

有症状者は症状発症日から10日、無症状は検体採取日から7日

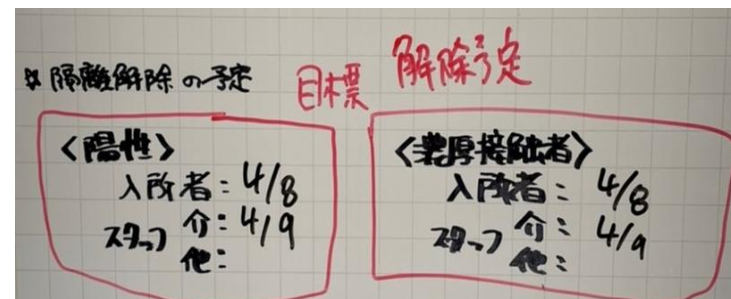
### — 濃厚接触者の健康観察終了日

陽性者と最後に接触した日から7日

### — 病棟ゾーニング終了日

病棟から陽性者や濃厚接触者が一切いなくなる日

## — 出口を明示することで、職員の士気の維持につながります。



# まとめ

- 平時から入所者数、職員数を整理、把握しておく
- 感染が始まったら、まず感染状況を詳細に数字で整理する
- 全体像を貼り出して、スタッフ全員が共有できるようにする
- 必ず出口を明示する